

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 江戸時代

名前

得点

/7

**問1** 江戸時代末期から明治時代初期にかけて、地主や資本家が仕事を設け、そこに多くの労働者を集めて、それぞれの作業を分担する「分業」の仕組みによって製品を生産した形態を何といいますか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)

1. 工場制手工業（マニュファクチュア）
2. 問屋制家内工業
3. 工場制機械工業
4. 地主制農業

**問2** 19世紀半ばの日本において、清がイギリスに敗北したアヘン戦争の影響について述べた文として、内容が正しいものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)

1. 薩摩藩や肥前藩は、専売制による財政改革で得た資金を用いて反射炉を建設し、軍備を強化した。
2. 日本はフランスの軍事力を恐れ、幕府が中心となって全国に配給制を導入し、食料を確保した。
3. アヘン戦争の結果、江戸幕府は鎖国をさらに強化し、全ての外国船を打ち払う方針を決定した。
4. 清の敗北を知った諸藩は、軍事力よりも教育を重視し、全国に藩校を建てて蘭学を禁止した。

**問3** 江戸時代、杉田玄白らが『解体新書』を出版するに至った動機や、その歴史的背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)

1. 実際の処刑場での人体解剖に立ち会い、西洋の医学書の図解が極めて正確であることを確認したため。
2. 幕府がキリスト教の布教を伴わないオランダの学問を奨励し、全ての医学書をオランダ語で書くよう命じたため。
3. 鎖国体制が緩和され、イギリスやロシアから最新の医学知識が大量に流入し、それらをまとめる必要があったため。
4. 本居宣長が提唱した国学の影響を受け、日本古来の医術を見直すために西洋の知識を比較対象としたため。

**問4** 1840年代、江戸幕府がそれまでの異国船打払令を改めて「薪水給与令」を出した理由として、最も適切な背景はどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)

1. 隣国の清がアヘン戦争でイギリスに敗れたことを知り、欧米列強との武力衝突を回避しようとしたため
2. アメリカからペリーが来航し、日本に対して正式に開国と通商を求めたため
3. ロシアの使節ラクスマンが根室に来航し、漂流民の送還と通商を求めてきたため
4. 幕府の財政が窮乏したため、外国船に燃料を売却することで利益を得ようとしたため

**問5** 松平定信が、幕府の役人の規律を正し、思想的な統一を図るために行った学問に関する政策として、正しいものはどれですか。 (2014年 沖縄公立入試 類似)

1. 聖堂学問所（昌平坂学問所）において、朱子学以外の講義や研究を禁止する寛政異学の禁を行った。
2. 西洋の進んだ医学や天文学を学ぶため、オランダ語による蘭学の研究を幕府の公認とした。
3. 古事記などの古典を研究することで日本古来の精神を尊ぶ国学を、幕府の公式な学問として採用した。
4. 全国の藩校や寺子屋に対して、身分に関わらず共通の教科書を用いるよう義務付けた。

**問6** 室町時代から江戸時代にかけての文化の担い手や特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 慈照寺の銀閣に代表される文化は、禅宗の影響を受けて簡素で気品ある特色を持ち、後の日本人の生活様式の源流となった。
2. 姫路城のような壮大な城郭建築は、鎖国によって海外との交流が断絶したため、純和風の技術のみで江戸時代末期に完成した。
3. 見返り美人図に代表される浮世絵は、公家や僧侶が日常の礼儀作法を学ぶための手本として、室町時代に広く普及した。
4. 慈照寺の銀閣、姫路城、見返り美人図は、すべて足利将軍家が文化の振興を目的に国費を投じて製作させたものである。

**問7** 17世紀後半のイギリスでは名誉革命が起こり、その翌年の1689年には国王の権限を制限する法律が制定されました。国王が議会の同意なしに法律の効力を停止したり、税金を徴収したりすることを禁じたこの法律の名称と、それによって確立された政治体制の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 三重公立入試 類似)

1. 「権利の章典」が制定され、国王の権力が議会によって制限された立憲君主制が確立された。
2. 「アメリカ独立宣言」が発表され、国王の支配から離れた共和制が確立された。
3. 「フランス人権宣言」が採択され、身分制が打破されて国民主権が確立された。
4. 「マグナ・カルタ」が認められ、貴族たちが王の徴税権を初めて制限した。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>工場制手工業（マニファクチュア）</b>	商人が農民に原料や道具を貸して自宅で作らせる問屋制家内工業から一步進んだ形態です。一つの場所に人を集め、それぞれの作業を分担する（分業）ことで、手作業でありながら生産効率を大きく高めました。これが後の機械を用いた大量生産（工場制機械工業）へとつながる土台となりました。
問2	<b>答え 1</b> <b>薩摩藩や肥前藩は、専売制による財政改革で得た資金を用いて反射炉を建設し、軍備を強化した。</b>	アヘン戦争によって東アジアの情勢が激変したことを受け、西南諸藩は強力な軍隊を持つ必要性を痛感しました。薩摩藩は黒砂糖、肥前藩は陶磁器などの専売制を強化して莫大な利益を上げ、その資金を投入して反射炉を建設し、大砲の鑄造などの軍事技術を磨きました。これがのちの幕末の政局や明治維新における原動力となりました。
問3	<b>答え 1</b> <b>実際の処刑場での人体解剖に立ち会い、西洋の医学書の図解が極めて正確であることを確認したため。</b>	杉田玄白や前野良沢らは、小塚原の刑場で行われた死体の解剖を見学した際、オランダの医学書に描かれた図が、実際の臓器の位置や形と正確に一致していることに驚きました。これをきっかけに、科学的な客観性を持つ西洋医学の翻訳を決意しました。この出来事は、経験や伝承に頼る学問から、実証的な観察を重視する近代的な学問への転換点となりました。
問4	<b>答え 1</b> <b>隣国の清がアヘン戦争でイギリスに敗れたことを知り、欧米列強との武力衝突を回避しようとしたため</b>	江戸幕府は1825年に異国船打払令を出し、日本沿岸に近づく外国船を容赦なく攻撃していました。しかし、1840年に始まったアヘン戦争で、アジアの大国であった清がイギリスの近代的な兵器に屈した事実は、幕府にとって大きな脅威となりました。現状の軍備では欧米列強に対抗できないと判断した水野忠邦は、衝突を避けるための現実的な外交政策として薪水給与令を採用しました。
問5	<b>答え 1</b> <b>聖堂学問所（昌平坂学問所）において、朱子学以外の講義や研究を禁止する寛政異学の禁を行った。</b>	松平定信は、儒教の中でも特に上下の秩序を重視する「朱子学」を幕府の正学と決めました。これに基づき、聖堂学問所（のちの昌平坂学問所）での朱子学以外の講義を禁じたのが「寛政異学の禁」です。これは武士の資質向上と体制の安定を目的とした思想統制の一環でした。
問6	<b>答え 1</b> <b>慈照寺の銀閣に代表される文化は、禅宗の影響を受けて簡素で気品ある特色を持ち、後の日本人の生活様式の源流となった。</b>	室町時代の東山文化では、書院造や茶の湯、生け花など、現代の和風生活につながる文化が、禅宗の精神を背景として武士や公家の間に広まりました。姫路城は桃山文化の特色である豪華さを持ち、安土桃山時代から江戸初期にかけて整備されたものです。見返り美人図は江戸時代の町人文化から生まれた作品であり、公家や僧侶のためのものではありません。また、これらの文化財は時代ごとの担い手（将軍、戦国大名、町人）が異なるため、すべてが將軍家によるものではありません。
問7	<b>答え 1</b> <b>「権利の章典」が制定され、国王の権力が議会によって制限される立憲君主制が確立された。</b>	1688年の名誉革命を受けて、1689年に「権利の章典」が制定されました。この法律は、国王が議会の同意なしに法を停止したり課税したりすることを禁止する内容であり、イギリスにおける議会政治の基礎となりました。国王が憲法や法律の枠組みに従って統治を行う「立憲君主制」の先駆けといえます。選択肢にある独立宣言は1776年のアメリカ、人権宣言は1789年のフランス、マグナ・カルタは13世紀のイギリスに関する出来事です。